

開発好明
 1966年、山梨県生まれ。アジアン・カルチュラル・カウンシルの助成を受けて、ニューヨークやベルリンに滞在し、制作・発表を行う。2001年第4回岡本太郎現代芸術賞 優秀賞。2004年第9回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展参加。毎年3月9日をアートの日とする「サンキューアートの日」企画、震災支援活動「デイリリーアートサーカス」主宰。近年の主な個展に「中2病」(2016年、市原湖畔美術館)、「あれこれ開発工場」(2019年、彫刻の森美術館)、「開発再考Vol.1,2,3」(2019、2022年、ANOMALY)、「SEVEN GIFTS」(2023年、MIKIKO SATO GALLERY)、主なグループ展に大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ(2006年-)、いちばらアート×ミックス(2014年-)、「あそびのじかん」(2019年、東京都現代美術館)、「TADのベスト版 コレクション―あなたならどう見る?―」(2020年、富山県美術館)。

9/7(土) 14:00-16:00 会場: 講堂

クlostroom
 開発好明×村上タカシ×門脇篤×バルコキノシタ
 震災後の作家活動を振り返る
 +
 門脇篤「開発好明の“政治家の家”」
 ドキュメンタリー上映会

9/23(月) 15:00-16:00 会場: 講堂

ノイズ音響系パフォーマンスユニット
 (開発好明+高安利明)
 Low-Tecのライブ・パフォーマンス

10/6(日) 14:00-15:30 会場: 講堂

39 (サンキュー) アートの日トーク
 開発が呼びかけ2001年3月9日からはじまったアートの記念日「サンキューアートの日」の20年分の活動について当時の関係者たちが語り合います。
 出演 開発好明、曾我高明(現代美術制作所)、ジャクソン・イアン&ミナコ(Art in Liverpool)、長 加賀(39アート in 向島)



あーまた来たい!

会期中何度でも入場できる
 開発好明展パスポート=2800円あります。

Yoshiaki Kaihatsu (1966-) leverages his interest in everyday life and social phenomena and devotes himself to artistic activities that encourage communication. Many of his projects—from guerrilla performances on the street and at art festivals to an art exhibition held simultaneously at 365 locations throughout Japan, workshops in communities and at schools, initiating “Thank You Art Day” (the day to appreciate art), and organizing a moving exhibition that traveled on a truck from Western Japan to Eastern Japan—cannot be contained within “white cube” exhibitions. While the presence of collaborators and participants is essential to these activities, the starting point of these projects and activities is found in Kaihatsu’s personal action of humbly intervening in social structures, systems, and events. Different thoughts and hopes respond to his endeavors and sequentially move people, and such development has been described as “One Person Democracy.”
 The exhibition presents about fifty works and projects from the artist’s career spanning over thirty years. The museum invites viewers to explore Kaihatsu’s “LIVE” world and experience the humor, genuineness, and unique philosophy underlying his versatile artistic expression.

観覧料 Admission
 一般=1,500円(1,200円)
 大学生・専門学校生・65歳以上=1,100円(880円)
 中高生=600円(480円)
 小学生以下無料

※()内は20名様以上の団体料金です。
 ※本展チケットでMOTコレクションもご覧いただけます。
 ※身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添いの方(2名まで)は無料です。
 ※毎月第3水曜(シルバーデー)は、65歳以上の方は無料です。(年齢を証明できるものを提示)
 ※家族ふれあいの日(毎月第3土曜と翌日曜)は、18歳未満の子を伴する保護者(都内在住を証明できるものを提示/2名まで)の観覧料が半額になります。
 ※サマーナイトミュージアム
 8月の毎金曜日は、17時以降のご来館で観覧料が2割引、学生は無料。(要証明)
 ※学生無料デー Supported by Bloomberg
 9月7日(土)・8日(日)の2日間、中高生・専門学校生・大学生は無料。(要学生証提示)
 ※オンラインチケット、同時開催展とのセット券もございます。
 詳細はウェブサイトをご覧ください。

Adults: 1,500 yen
 University & college students, over 65: 1,100 yen
 High school & junior high school students: 600 yen
 Elementary school students and younger: free
 *20% discount for a group of over 20 people
 *Ticket includes admission to the MOT Collection exhibition.
 *Students Day supported by Bloomberg
 Free entry for students on September 7 and 8. A valid ID is required.
 *Visit the museum's website to find out more about the exhibition, tickets, and Summer Night Museum.

Organized by Museum of Contemporary Art Tokyo operated by Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture
 Sponsored by TOKYU KABUKICHO TOWER / HOTEL GROOVE SHINJUKU, A PARKROYAL Hotel
 Grant: The Mitsubishi UFJ Trust Cultural Foundation
 In cooperation with GRANTCHESTER HOUSE
 Closed: Mondays (except 12 Aug., 16 and 23 Sep., 14 Oct., 4 Nov.) 13 Aug., 17 and 24 Sep., 15 Oct., 5 Nov.
 Opening hours: 10 AM - 6 PM
 Open until 9 PM on Fridays in August.
 Tickets available until 30 minutes before closing.

ほかにも多数の関連プログラムを予定!
 参加方法・詳細は当館ウェブサイト
 で順次公開します。



東京都現代美術館
 Museum of Contemporary Art Tokyo
 〒135-0022 東京都江東区三好4-1-1
 050-5541-8600 (ハローダイヤル)
 4-1-1 Miyoshi, Koto-ku, Tokyo 135-0022
 +81-50-5541-8600 (Hello Dial)
 www.mot-art-museum.jp
 ※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。
 *All programs are subject to change.

交通案内 Access information
 東京メトロ半蔵門線「清澄白河駅」B2番出口より徒歩9分
 都営地下鉄大江戸線「清澄白河駅」A3番出口より徒歩13分
 東京メトロ東西線「木場駅」3番出口より徒歩15分、または都営バスで「東京都現代美術館前」下車
 都営地下鉄新宿線「菊川駅」A4番出口より徒歩15分、または都営バスで「東京都現代美術館前」下車
 From Kiyosumi-shirakawa Station on the Hanzomon Line: 9min. walk from the B2 exit.
 From Kiyosumi-shirakawa Station on the Toei Oedo Line: 13min. walk from the A3 exit.

	清澄通り	三ツ目通り	大門通り
新大橋通り	半蔵門線清澄白河駅B2番出口 Exit B2 "Kiyosumi-shirakawa Sta." Hanzomon Line	都営新宿線菊川駅A4番出口 Exit A4 "Kikukawa Sta." Shinjuku Line	
清洲橋通り	大江戸線清澄白河駅A3番出口 Exit A3 "Kiyosumi-shirakawa Sta." Oedo Line	深川資料館通り	
葛西橋通り	首都高「木場IC」出入口	木場公園	
永代通り	門前仲町駅	東武東上線3番出口 Exit 3 "Kiba Sta." Tozai Line	

同時開催の展覧会 Also on View
 ・企画展「日本現代美術私観：高橋龍太郎コレクション」
 ・コレクション展「MOTコレクション」
 ・A Personal View of Japanese Contemporary Art: Takahashi Ryutaro Collection
 ・MOT Collection

ARTIST LIVE

開発好明 YOSHIAKI KAIHATSU



2024年8月3日(土) — 11月10日(日)
WELCOME TO ONE PERSON DEMOCRACY

ひとり民主主義の暮らし



毎日系作家の底力！
30年十分みせます。

やることたくさん！

あなたと僕とでいくる展覧会

議員事務所に招待状を700通以上送ったらしい



「政治家の家」福島県南相馬市 2012年

いろんな先生が来るらしい

毎日午後1時
ぐらいから

100人先生 開講！

詳しくはウェブサイト



合計2km以上のドラゴンがどこかを巡っているらしい



「未来郵便局」『ヨコハマトリエンナーレ 2011』特別連携プログラム「新・港村～小さな未来都市」(BankART Life III)での展示風景 2011年

半袖の制服しかないらしい

365ヶ所で一年間
展覧会をしたらしい



「365大作戦」1995-1996年

両手で同時に描いたららしい

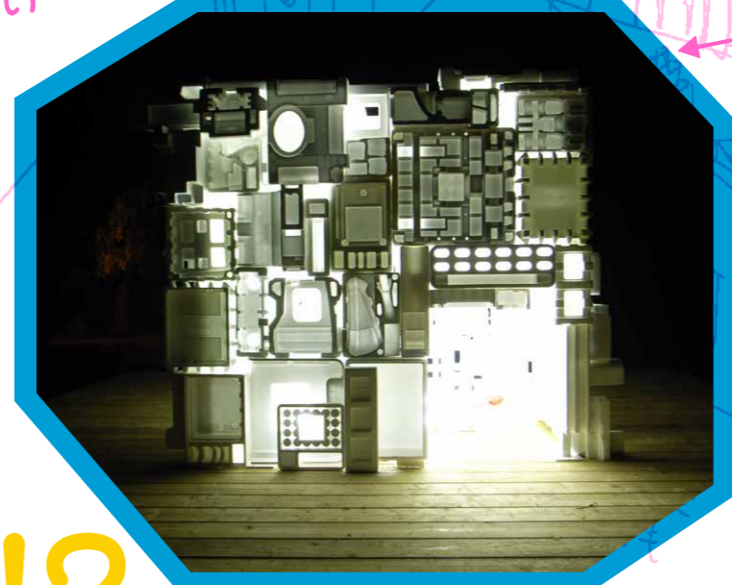
ARTISTS LIVE

可能性を毎日毎日
打ちのめされていく
でよほとんどの日は
自分には才能はある！

開発さんの飼っている
パンダがたまに出没するらしい



木場のダメパンダ



「発泡箱 in ウィンタートゥアー」展(ウィンタートゥアー/スイス)での展示風景 2007年



「都会生活者のオアシス」ZOOM セクセルアートスペースでの展示風景 2000年 撮影：谷岡康則

サラリーマンが
昼寝に来るらしい

中が噴水だったらしい

開発好明(1966-)は日常生活や社会現象への関心を
挺に、コミュニケーションを促す表現活動を続けて
きました。その中には、路上や芸術祭でのゲリラ
パフォーマンス、日本各地365ヶ所で同時に行う展
覧会、地域や学校でのワークショップ、アートの記
念日の提唱、トラックで西日本から東日本へ移動す
る移動式展覧会の主宰など、ホワイトキューブでの
展示に収まり切らないものが多く含まれます。こ
のような活動には協力者や参加者の存在が不可欠
でありつつ、その起点はあくまでも、社会構造や制
度、出来事にささやかに介入してゆくという開発の
個人的な営みにあります。そこに様々な思いが反
応し、連鎖的に人々を動かしていくその様子は、「ひ
とり民主主義」と称されました。
本展では、30年以上に及ぶ作家活動の中から約50点
の作品/プロジェクトを紹介します。LIVEな開発の
世界を探索しながら、その多彩な表現に通底する
ユーモアと誠実さ、独自の哲学に触れてみませんか。

開発さんに会えるかも!?